

たぶんかきょうせい 多文化共生ってなに？

たぶんかきょうせい こくせき みんぞく こと
多文化共生とは「国籍や民族などの異なる
ひとひと たが ぶんかてき みと あ たいどう
人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な
かんけい きず ちいき しゃかい こうせいいん
関係を築こうとしながら、地域社会の構成員とし
とも い にほんじん
て共に生きていくこと」を言います。日本人も
がいこくじん ちいき いちいん とみ みと あ たが
外国人も、地域の一員として共に認め合い、互い
ちから あ しゃかい はってん
に力を合わせながら、社会を発展させていこう
かんが なた
という考えです。



たぶんかきょうせい 多文化共生のまちづくり

くろーばるか しんてん ちきゅうきほ ひと いたう かっぱつか げんざい はちおうじ
グローバル化が進展し、地球規模で人の移動が活発化している現在。八王子でも、
がいこくじん じんこう きゅうそく そうか
外国人の人口が急速に増加しています。駅で、学校で、コンビニで——日常で外国人
と触れ合うことは珍しいことではなくなりました。こうした中、日本人と外国人が、一
緒になって地域社会を形づくっていくことが求められています。

外国人が地域の活動に参加することは、人と人のネットワークを拡げ、地域社会の新しい活力を生み出します。日本人にとっては、地域の魅力を再発見する機会となるとともに、国際理解が深まるきっかけとなります。

多文化共生の意識を深めることは、日本人も外国人も、一人ひとりが気持ちよく暮らすことのできる、魅力あるまちづくりにつながります。

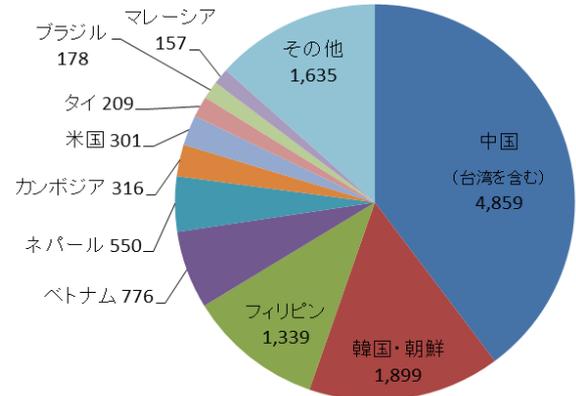
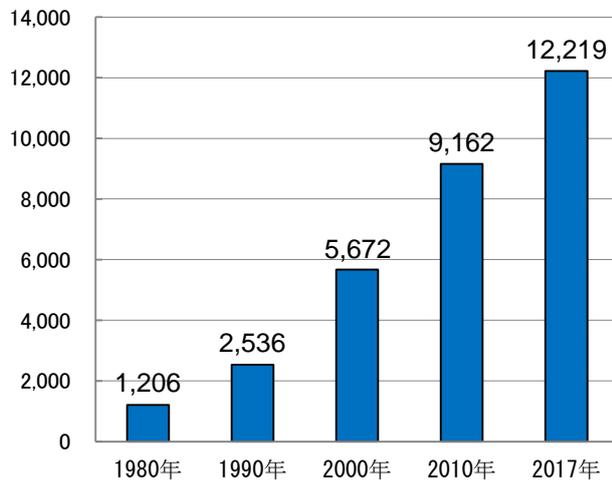


(左上から時計回りに)さまざまな国の文化に触れる「国際交流フェスティバル」、地域防災の担い手になってもらおうと外国人にも参加を促している防災訓練、学校で母国の文化などを伝えるゲストティーチャー

八王子市の状況

八王子市には約 12,000 人の外国人が住んでいます。これは 20 年前の約 2 倍の数字です。国籍数も増え、現在 100 を超えています。近年では、ベトナムやネパール、カンボジア国籍の増加が顕著です。

市内に大学などの学校が多いので、留学生の割合が大きいのも特徴です。



八王子市多文化共生推進プラン

八王子市では、「国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かしあいながら、共に暮らす多文化共生のまちづくり」を基本理念とする多文化共生推進プランを策定し、多文化共生のまちづくりを推進しています。プランは市の各事務所・図書館やホームページなどでご覧いただけます。



プランの基本目標と主な施策

基本目標 1

外国人市民も安心して暮らせるまちの実現

- ・ 語学ボランティア等の育成と活用
- ・ やさしい日本語の普及と活用
- ・ 外国人留学生への就職支援
- ・ 外国人留学生の能力を活用した地域活性化

基本目標 2

国際感覚豊かな市民を育むまちの実現

- ・ 小・中学校での国際理解教育
- ・ 国際理解の推進
- ・ 海外友好交流都市との交流
- ・ 国際交流フェスティバル
- ・ 外国人観光客等への観光案内